

成田市教育委員会会議事録

平成29年3月成田市教育委員会会議定例会

期 日 平成29年3月24日 開会：午前10時00分 閉会：午前11時29分

会 場 成田市役所5階503会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	小 川 新太郎
委 員	高 木 久美子
委 員	福 田 理 絵
委 員	佐 藤 勲

出席職員

教育総務部長	伊 藤 和 信
生涯学習部長	秋 山 雅 和
教育総務課長	鬼 澤 正 春
学校施設課長	篠 塚 正 人
学務課長	江 邨 一 男
教育指導課長	中 條 専 一
学校給食センター所長	後 藤 文 郎
生涯学習課長	田 中 美 季
生涯スポーツ課長	大 矢 知 良
公民館長	神 崎 良 浩
図書館長兼視聴覚サービスセンター所長	池 田 桂 士
生涯学習課副参事	木 川 邦 夫
教育総務課課長補佐 (書記)	鈴 木 浩 和

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 高木久美子委員、佐藤勲委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○3月7日・8日 校長目標申告について

教職員の人事評価制度に基づく校長との面談を実施しました。これまでは、校長目標申告に対して最終面談を行い、それぞれの学校の状況について聞き取りを行い、校長先生方の学校経営評価を行っていたものですが、これからは、人事評価ということで、目標申告に対する結果はもちろんのこと、校長自身の能力評価も併せて行うこととなり、大変責任が重くなりました。実績と能力の両面から人事評価をするこのシステムは、評価者によってその結果が異なってくるのは仕方ないこととはいえ、これが、給与に反映されることになってくるわけで、慎重にやらざるを得ません。教育委員会は直接学校現場の様子を日常的に見聞きしているわけではありません。時折の学校訪問であるとか、学校に何か問題が生じたとき、校長がどのような判断を下したのか、その結果どういうことになったのか、表面に出てきた結果でしか判断ができない状況となります。学校は子どもを育てるところであり、同時に教職員を育てているところでもあります。すぐに目に見える効果は期待できないまでも、良い取り組みはいくらでも存在します。そうした努力とその先に期待される結果を予測して人を評価してあげなければ気の毒なことだと思います。

○3月11日 成田市生涯大学院卒業式について

平成28年度成田市生涯大学院の卒業式並びに修了式を行いました。卒業生は第37期生で、78名。修了生は、第38期生が58名、第39期生が77名でした。それぞれ、年度初めの時と比べると、若干人数は減っていますが、大変な頑張りだと思いました。このうち、3カ年皆勤者は4名いらっしゃいました。なお、1カ年皆勤者は、37期生が7名、38期生が15名そして39期生が12名おられました。年齢を重ねても旺盛な向学心、探究心そして学習を通して身につけた実践力等々、今後は豊かに生きる大切な力になると思いました。

○3月14日・17日 成田市立小中学校卒業式について

全委員さんにお話し、それぞれ分担して各小中学校の卒業式に出席していただいたので、この後、簡単に感想をお聞きできればと思います。私は、下総みどり学園と津富浦小学校の卒業式に参加しましたので、そこでの感想を述べますと、下総みどり学園では、1年生から9年生まで全員参加の卒業式で、時間も2時間もかかってしまうなど、長い時間にわたって行われましたが、どの学年もよく指導されていて、終始真剣な態度で参加できていたことは、本当に素晴らしいことだと思いました。特に、合唱は小さな子の高い音から、9年生の太い声まで、本当によく調和されていて、感動的な歌声でした。これが最後の卒業式となった高山校長先生も、式辞の最中に感極まって涙声になる瞬間もあり、思いが伝わる素晴らしい式だったと思いました。津富浦小学校では、小規模校の良さを出そうとする山下校長先生の思いがにじみ出た卒業式となりました。校長式辞では、山下校長が卒業生一人一人に語りかける場面があり、大変長い時間がかかりましたが、思いはよく伝わったと思います。式が進むにつれて卒業生はもちろん、在校生まで大泣きする子が続出して、これはこれで、卒業式らしい思い出に残る式になったと思いました。山下校長も今年度末定年退職ということで、感慨深い1日になったことと思います。教育委員さん方の出席された学校はいかがでしたでしょうか、のちほど、是非ご感想をいただきたいと思います。

○3月16日 成田市ふれあいルーム21修了の会について

今年度の修了の会には、来賓として小泉市長にもお出でいただき、お祝いの言葉を頂戴しました。委員の皆様にもご出席していただいておりますので、特段、報告の必要ないかと思いますが、私の感想を述べますと、ルームの子どもたちには、それぞれ異なる育ちがあり、抱える問題も様々ですが、自分の居場所を求め、何とか人とのコミュニケーションを取って、一歩でも前へ進もうとする姿が見え、応援せずにはいられません。しかし、修了生の中でも、この式に参加できるのは半数弱に留まり、ここに在籍する子どもたちでさえ、人のいる場所に出ることが、どれだけ大変になっているかを物語っていると感じた次第です。それぞれ在籍する学校から担任の先生はじめ、校長先生も出席され、学校もみんなで応援する姿が見て取れますが、学校に行けなくなる前に、もっと優しく、もっと丁寧に子どもたちを見ることはできなかったのかと、悔やまれます。どんな子どもたちも、同じ教室で学べるよう、学校職員は、まだまだ努力が必要だと感じました。

○3月21日 成田市学校給食センター運営委員会について

学年末になっての開催となりました。今回は、「学校給食食物アレルギー対応マニュアルの修正について」を議題とし、運営委員の皆様のご意見を頂戴しました。今回の修正は、文部科学

省から出されている、「学校給食における食物アレルギー対応指針」に記された内容に則って、本市の「学校給食食物アレルギー対応マニュアル」を修正しようとするものでした。ここでは、極微量でも、食物アレルギー反応がみられるお子さんについては、弁当で対応していただく、ということと、食物アレルギー対応食の提供については、学校及び調理場の施設設備・人員等を考慮し、無理な対応、過度に複雑な対応はしない。ということの2点が大きな修正事項でした。

○3月21日 成田市文化財審議委員会について

今年度第3回目の審議委員会でした。昨年11月から本年2月までの埋蔵文化財の状況を担当から報告させていただくとともに、楽満寺のガラス絵馬・板絵馬類、4件42点が県指定の有形民俗文化財になること、赤萩の大エノキの修復状況、台方麻賀多神社拝殿の新築工事の状況等についても説明させていただきました。審議委員の皆様からは、市指定から県指定になることは大変良いことだが、県からの調査を待つのではなく、市から県へ働き掛けていく姿勢が大切ではないかと、ご指摘をいただいたところです。これらに関連して、文化財倉庫や展示施設など、なかなか進んでいない状況からも、市は文化財行政に消極的だとの強いご意見も、以前からいただいているところなので、今後は、こうした声にも応えられるようにしていきたいと思っておりますが、何分にも、文化財関係に携わる職員が物理的に足りない状況が続いていますし、学校跡地活用もなかなか思うように進んでいない現状があります。引き続き、教育委員会からの強い働きかけを続けてまいりたいと思っております。

市議会

○2月24日～3月23日 平成29年3月定例会について

3月議会は、市長の施政方針とこれに関連する会派代表質問、新年度予算に関する予算特別委員会が開催されるなど、短期間で重要な審議が行われます。教育委員会関係では、今回11人の議員から代表質問、一般質問等を受けたところです。なお、3月23日最終日に、今回提案された議案全てが、全会一致もしくは賛成多数で可決されました。

○3月 9日 教育民生常任委員会

常任委員会では教育委員会関係の議案として、「成田市伊能歌舞伎基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止するについて」、「成田市立久住中学校増築棟4級併行防音工事（建築工事）請負契約の締結について」、「指定管理者の指定（成田国際文化会館）の変更について」の3議案について審議していただき、どの議案も全会一致で承認されました。また、報告事項として、「大栄地区小中一貫教育校の校名及び校舎の建設について」と、「美郷台小学校学校給食調理場

増築事業について」の2件について報告させていただきました。若干の質問はありましたが、特に大きな課題はなく、了承していただきました。

○3月13日～15日 予算特別委員会について

あらかじめ事前通告をいただき、作成した資料も多く、職員は事前準備が大変でした。しかし事前準備がきちんとできていたこともあって、教育予算の審議中、たくさん出された質問にも担当課長が的確に答えておりました。

その他

○2月17日 北総教育事務所人事異動面接（第二次）について

事務所の第二次面接は、異動対象となった教職員の異動先、また、新たに着任する教職員名が明らかになるのですが、この時点ではまだ7割もしくは8割程度しか内定せず、先だって開催した2月末の臨時教育委員会会議の時期になって、初めて異動先、もしくは転入者名が明らかになる職員もおります。いずれにしても、この面接は、教育事務所が各校長に異動状況を伝える場でしかなく、このことについて質問や意見が全く言えないような雰囲気の中で行われているのが実態です。私が思うに、もう少し血の通った面談にしてほしい。もっと、言いたいことを言える、聞く耳を持ってくれる。そんな面接にすべきではないかと思っています。今年度から四街道市の教育事務所別館まで各校長先生方が出向いていくことになったわけですから、形式的ではない面接にしていきたいと思うところです。今後の教育長会議でも話題にしていきたいと思っています。

○2月25日 成田市少年野球連盟創立40周年記念式典について

市内に少年野球連盟が発足して40年目を迎えるということで、記念式典に招かれ、出席して参りました。各少年野球チームの代表の方々が多数出席されておまして、特に功績のあった方々を連盟から表彰するなど、華やかな会となりました。今でこそ、市内には強豪と言われる少年野球チームが何チームもありますが、それは今日まで、根気よく指導を続けてきた成果であると思います。指導者の皆様のご労苦に敬意を表したいと思います。

○3月9日 第26回全国高等学校剣道選抜大会出場校激励会について

これは、昨年9月に中台体育館を会場として「第1回成田全国剣道錬成会」が開催され、全国から72校、730名の高校生が集い、3日間にわたり互いに技を競い合ったということですが、いわば、剣道の大規模な練習会が行われたということだと思います。ここに参加した72校中、14校が見事予選を勝ち抜き、全国大会に参加することになったそうです。また、この練習会期間中、成田山にお参りし、必勝祈願をしたということで、そのおかげもあって今回

の好成績につながったということでした。そこで、成田市としても全国大会に出場する学校の選手を応援しようということで、市長が必勝祈願の色紙を各学校に贈呈することになったものです。この日は、本市、西中学校剣道部出身の現在中央学院高校2年生の生徒が代表として出席し、全国大会出場への決意を語っておりました。

○3月9日 一般財団法人印旛教育会館平成28年度第2回評議員会について

この日の議案は、来年度の事業計画と収支予算案、そして、一般財団法人印旛教育会館の職員の給与に関する規定の一部改正についての3件でした。特に、職員の給与については、これまでの評議員会では一度も話題に上らなかったことでしたが、印旛教育会館が現在の場所に来て以来一度も改正していなかったもので、当時の状況と現在とでは、大きな差が生じていることから、現在の実情に合わせた改正を行ったものです。

○3月10日 平成28年度第10回成田市校長会議について

定例の校長会議ですが、今年度最後の会議ということで、私からは、今年度実施した市独自の学力調査における本市の児童生徒の成績が、小学校では全学年全教科で全国平均を上回るものであったこと。また、中学校においてもテストを実施した全学年で、1教科を除いて全て全国平均を上回る成果を示すことができたことから、各校の先生方の努力の賜物であることを伝え、引き続き指導に当たっていただけるようお願いすると同時に、教職員の育成について、何点かお話しさせていただきました。

○3月16日 千葉県立富里特別支援学校卒業証書授与式について

昨年に引き続き、富里特別支援学校の卒業式に参加しました。小学部、中学部そして高等部の合同卒業式で、卒業生は、それぞれ、小学部18名、中学部16名、高等部41名でした。校長先生から証書を受け取る子ども達の真剣さと、高等部を卒業し社会人としての第一歩を踏み出す生徒が大粒の涙をこらえきれずにいる姿が印象的でした。

富里特別支援学校は、3月1日現在、253名が在籍していますが、4月から新たに開校する栄特別支援学校に分離していくことによって、児童生徒数が100名以上減ると伺っています。これまでは、施設の規模から考えても、すでに限界に達していた状況でしたから、今後は、これまでよりずっとゆとりを持った状態で学校運営ができるのではないかと思います。

○3月17日 2016成田POPラン大会第3回実行委員会について

今年度実施したPOPラン大会の事業報告並びに収支決算について審議しました。今回は成田POPラン大会開催日前後に大きな大会が周辺地域で行われたため、POPラン大会への参加者が例年よりだいぶ減ってしまったようです。全体で4,426名の参加申し込みがあり、申し込み人数だけでも昨年より765名少なかったということです。また、このうち、受付を済

ませた方は、3,991名で、実際に完走された方は、そのうちの95.1%で3,794名だったということです。また、北は北海道江別市から、南は宮崎県宮崎市から、最高齢者は男性が79歳、女性が77歳ということでした。なお、次年度は現段階で11月12日の日曜日を予定しておりますが、生涯スポーツ課が市長部局に移管されることに伴い、これまで、教育委員さん方の参加をどう考えるべきか、現在協議を進めておりますが、このことについて、皆さんから何かご意見があれば、伺いたいと思います。

○3月17日 平成28年度成田スポーツフェスティバル第2回実行委員会について

2016成田POPラン大会第3回実行委員会が行われた同日、本委員会を開催いたしました。会議では、今年度の大会事業報告並びに収支決算、次年度の開催要項案について審議いたしました。この中で、今年度の大会が途中から雨が激しくなり、大会を中断せざるを得なくなったことから、次年度は、大会前日の午後3時の時点で、会場をどこにするか、すなわち、陸上競技場で行うのか、体育館で行うのか決めてしまうことを提案させていただきました。そして、決定後は変更をしないこと、つまり、外で行うことを決めたら、途中で雨が降っても室内に会場を移すことはしないことを決めました。この大会も教育委員さんの関わりを今後どうするか、協議していくことにしております。

○3月22日 公益財団法人印旛郡市文化財センター第98回理事会について

今回は、平成28年度の事業計画の変更及び、平成28年度収支補正予算について協議するとともに、平成29年度の事業計画案及び、収支予算案について協議しました。これまで、厳しい運営を続けてきた文化財センターでしたが、今年度から上向きになり、次年度も引き続き良い状況が続くことが予想され、関係者も安堵しております。

○3月22日 エンジョイ中台S.S.C設立総会について

成田市で初となる、総合型地域スポーツクラブが、ようやく設立総会を迎えることができました。ただ、ここに来るまでには、関係者が何度も会合を重ね、議論をされてきており、本当にクラブを立ち上げることができるのかどうか、ギリギリまで厳しい状況であったことなどのお話を伺うことができました。このクラブも、開設から5年間は、公益財団法人日本体育協会や、公益財団法人千葉県教育振興財団から、補助金を受けることができますが、6年目からはそれがありません。5年間で自立できるようにしなければクラブを運営することができないため、これからがとても大事になってきます。いずれにしても成田市に総合型スポーツクラブが根付くまでにはまだまだ課題がありそうです。関係者のこれまでのご努力に敬意を表するとともに、今後のクラブの運営に市民の皆様の応援と協力をお願いしたいと思います。

以上、報告とさせていただきます。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：私は大栄中学校と三里塚小学校の卒業式に出席させていただきました。教育長からは下総みどり学園と津富浦小学校の卒業式の様子のお話がありましたが、こちらも整然としたいい卒業式でした。そうした中で、大栄中学校では来賓の方々を全員紹介していましたが、三里塚小学校は紹介を次第に記載のとおりとしておりました。個人的には、式の流れの中で必ずしも重要でない部分については、時間短縮の意味合いから、三里塚小学校のような方法が望ましいと感じました。また、直接的には関係がありませんが、あいさつの参考とするために学校ホームページを見させていただきましたが、きちんと更新して学校の様子を伝えているホームページと、去年の行事予定が掲載されているなど、適切に更新されていないホームページとがあり、学校間の差が大きいことがわかりました。現在は開かれた学校づくりが求められておりますので、折角の発表の場であるホームページをもっと積極的に活用し、対外的なアピールをしていただきたいと感じました。

また、ふれあいルームの修了の会ですが、例年思うことですが、苦しんだ子どもたちが巣立っていく様子を見るのは、感動的です。今年は、特に教育センター所長の優しい式辞には感動いたしました。彼らに対しては、あのように精一杯、優しく包み込むような対応が必要なのだと思います。修了生の中に、夏休みに学校に行けずはどうしようもなかったときに、ふれあいルームの先生に手を差し伸べてもらい救われた子がいたということですが、苦しんでいる子どもたちのことを理解し、求められずともこちらから手を差し伸べるという努力は、今後益々必要になってくると思いますので、よろしくをお願いします。

福田委員：私は、初めて大栄幼稚園の卒園式に出席させていただきました。園長先生から卒園証書を受け取り、それを後ろに控えている保護者の方に渡すのですが、保護者の皆さんも初めての方が多く、子どもたちの成長を見て感動した様子でした。また、小さいながらも、きちんと椅子に座っている様子などを見て、こちらも感動してしまいました。また、本城小学校の卒業式にも出席させていただきました。6年生は2クラスで、担任の先生が作った歌を式の最後に歌いました。すると、それまで淡々と進んでいた卒業式だったのですが、急にみんなが号泣し始めたのです。それを見て、先生の思い

が卒業生みんなに伝わっているんだということを感じました。そして、公津の杜中学校の卒業式にも出席いたしましたが、大変行儀がよくて、顔見知りの来賓の方も多く、安心してお祝いの言葉を述べることができました。各学校を訪れて、改めて成田市の子どもたちは合唱が上手だと感じました。これからもこのように、いいところを伸ばしてあげていただきたいと思いました。

小川委員：私は3月14日に西中学校の卒業式に出席しました。220名を超える卒業生でしたが、1、2年生も含めて一所懸命に式に臨んでいる姿が印象に残りました。返事も大変立派にできていました。何年か前には、落ち着きのない卒業式が行われたこともありましたが、今年はいい卒業式が行われました。また、3月17日には公津の杜小学校の卒業式に出席しましたが、卒業生は145名ということで、1、2、3年生は卒業生を送ってすぐに下校し、4、5年生のみが出席する卒業式でした。卒業生の保護者はご夫婦で出席されており、保護者の方が多いといった状況でした。他の学校では、卒業生が壇上で将来の夢を語るような場面もありますが、卒業生が145名もいるとそういったこともできませんので、中学校と同じように卒業証書を受け取るのみとなりました。卒業のしおりに一人ひとりの将来の夢が載せられておりましたので、そのしおりを見ながら、卒業証書を受け取る卒業生の姿を見させていただきました。2時間10分程かかり、中学校並みに長い卒業式でした。3月16日にはふれあいルームの修了の会に出席しましたが、在籍22名のうち半分程度の出席だったので、もう少し多くの子どもたちが出席できるとよかったです。学校に厚い壁、あるいは薄い壁を感じている子どもたちが、ふれあいルームに来て他の子どもたちとつながりを持ちながら、前へ前へ進もうとしている姿が目に見えてきました。是非、学校へ行くことのできない子どもたちが、ふれあいルームを活用し、子ども同士のつながりを築いていっていただきたいと感じました。

高木委員：私は、3月14日の成田中学校の卒業式に出席させていただきました。178名の卒業式でしたが、自分の子どもがお世話になっている学校でもありますので、安心して出席し、そしてお祝いの言葉についても自分の言葉で述べることができました。来賓の方々も40数名と大変多く、多くの地域の皆様に見守られているということを感じました。3年生の答辞では「仰げば尊し」が何年かぶりに歌われましたが、来賓の皆様もいいと感じていたようで、やはり永く歌い継がれている歌はいいものだと改め

て感じました。また、最後に全校合唱で、「あなたへ」という歌を歌いました。私には新しい歌に聞こえましたが、大変上手で、在校生も含めて意欲的に合唱の練習に取り組んだ姿勢が見受けられて、とてもほほえましく感じました。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第4号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

<これより非公開>

議案第1号 「成田市教育委員会職員の人事異動について」

《審議結果》

承 認

議案第2号 「成田市学校適応専門指導員の任命について」

中條教育指導課長：

本議案は、学校適応専門指導員の任期が本年3月31日をもって満了することから、成田市学校適応専門指導員の設置に関する規則第3条の規定によりまして、任命しようとするものです。飯田美紀さんは、平成25年3月に公立学校を退職するまで特別支援学校の担任を務め、発達障害や特別支援教育に関する知識、経験が豊富であり、障害を持つ子どもの保護者への深い理解を持ち合わせております。また、平成16年4月から平成22年3月までは、成田市心身障害児就学指導委員会委員、平成25年4月からは学校適応専門指導員として活躍され、成田市全体の就学支援に関しても理解しております。こうしたことから、引き続き学校適応専門指導員として飯田美紀さんを任命いたしたく、提案させていただきます。

《議案第2号に対する質疑》

佐藤委員：平成25年度からお務めいただいておりますが、任期は1年毎に更新しなければならぬのでしょうか。

中條教育指導課長：設置規則において任期が1年と規定されております。

福田委員：学校適応専門指導員の方は何名おいでになりますか。

中條教育指導課長：現在1名のみです。

福田委員：1名で市内の全部の学校をみているのでしょうか。業務に見合った人数なのでしょうか。

中條教育指導課長：担当指導主事と2名で対応しており、忙しいのは間違いありませんが、何とか対応しております。

議長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第2号「成田市学校適応専門指導員の任命について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第3号 「成田市英語指導助手の委嘱について」

中條教育指導課長：

英語科研究開発事業を行う上で、小中学校の英語教育の質の向上を目指すとともに、どの学校でも同じ英語教育を提供するために、2名の英語指導助手を委嘱しようとするものです。

英語指導助手は、主に小学校及び中学校で実際に授業を参観して、英語講師に対し、英語授業について指導や助言を与えたり、各種英語研修会の補助を行います。また、英語教材、成田市独自の英語版の年間指導計画の作成を行っております。

英語指導助手を委嘱しようとするのは、ロシア出身のワシリェワ・アレブティナさんと、アメリカ合衆国出身の杉浦テリー・スーさんの2名です。ワシリェワさんは、平成11年10

月から成田市内の外国人英語講師として勤務し、平成14年10月から現在の英語指導助手に委嘱され、市内小学校の外国人英語講師に対して細やかな指導や助言を行っています。

もう一人の杉浦テリー・スウーさんは、平成9年4月から平成11年12月まで千葉大学教育学部附属中学校で外国人指導助手として勤務し、その後成田赤十字看護専門学校などでも英会話を担当した経験を持っています。成田市では、平成14年4月から成田小に外国人英語講師として勤務し、平成16年4月から現在の英語指導助手として小中学校英語教育の充実に貢献しています。なお、英語指導助手の任期は平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年となります。

《議案第3号に対する質疑》

高木委員：外国人英語講師はアシスタント・ランゲージ・ティチャーでALTですが、このアシスタントも助手を意味していると思います。お二人は、ALTを指導する先生であるにもかかわらず、英語指導助手ということですが、この職名は適切なのでしょうか。

中條教育指導課長：通常、私たちは、お二人を48名いるALTの主任であることから、主任ALTと呼んでいます。この職名につきましては、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

佐藤委員：高木委員と、教育指導課長の話を伺った中では、教育指導課長のおっしゃった主任ALTという呼称が適当ではないかと感じます。

小川委員：伊藤部長にお聞きします。例規上決まっている職名だと思いますが、簡単に変更することができるのでしょうか。

伊藤教育総務部長：職名につきましては、非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例に規定されておりますので、もし変更するとすれば、この条例を改正する必要がありますが、条例改正には議会の議決が必要になります。なお、英語指導助手という名称は、当初十分検討して設けたものだと思いますが、本市は英語教育の充実を進める中でALTが増えておりますので、ご指摘のように現状に合わなくなっているのかもしれない。今後、条例改正の機会に名称変更を行うことは可能ですので、検討課題

とさせていただきますと思います。

小川委員：私も、お二人の立場が外から見てもわかるよう、現状に合わせた適切な職名にすべきだと思います。

福田委員：外国人英語講師、ALTの方の例規上の表記はどうなっているのでしょうか。

伊藤教育総務部長：ALTは、非常勤特別職ではないので例規上の位置付けはございません。一般的な呼称として使用しているものです。これは他の市町村についても同様だと思います。

議長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第3号「成田市英語指導助手の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第4号 「成田市社会教育指導員の任命について」

田中生涯学習課長：

成田市社会教育指導員の任期が、平成29年3月31日で満了となりますので、成田市社会教育指導員の設置等に関する規則第3条第1項の規定により、任命しようとするものです。

資料の2ページをご覧ください。今回任命しようとする社会教育指導員は8名ですが、そのうち主に新任の方について、ご説明いたします。まず、3番目までが「生涯大学校」に勤務していただく指導員で、お二人は再任です。新任の阿部智子さんは、本年3月31日を以って加良部小学校教諭を退職される予定です。市内では橋賀台小学校、吾妻小学校などで勤務され、活躍いただいた方ですので適任であると判断したところです。次に4番目、5番目のお二人は生涯学習課で勤務していただく方で、家庭教育学級などを担当していただきます。新任の堀佳代子さんは、本年3月31日をもって久住小学校教諭を退職される予定です。市内では向台小学校、久住小学校で勤務され、ご活躍いただいた方ですので適任であると判断したところです。

3ページをお願いいたします。上からお二人は教育支援センター内にある「教育相談室」に勤務していただく相談員で、新任の高木美智子さんは、養護教諭として津富浦小学校や滑河小

学校などで勤務され、退職後、今年度は教育指導課所管の教育支援センター指導員として勤務されましたが、4月からは同じセンター内での経験を生かして、相談員をお願いしたいと考えております。3番目の方は下総歴史民俗資料館の勤務をお願いしている再任の方です。以上8名を、任期平成29年4月1日から平成30年3月31日まで、社会教育指導員として任命しようとするものでございます。

議長：ただ今の提案に関し、ご質問等はございますか。

特にないようですので、議案第4号「成田市社会教育指導員の任命について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

<非公開を解く>

(2) 報告事項

報告第1号 「平成28年度成田市教育委員会奨励賞（追加報告）について」

鬼澤教育総務課長：

教育委員会表彰につきましては、成田市教育委員会教育功労者表彰規則に基づき、本市における教育、学術又は文化の振興に関し、特に功績の顕著であった個人又は団体に対して教育委員会が表彰を行うもので、本年度は昨年11月に表彰式を行ったところでございます。

本日報告いたします奨励賞につきましては、成田市教育委員会表彰内規に定めるもので、市表彰式で表彰する功績賞の対象とはなりません。小中学生であって、県規模の大会で最優秀の成績を得た者、または、県規模の大会で選抜され、全国大会に出場した者を対象に、担当課からの推薦により、随時表彰を行うものとしております。資料の1ページをご覧くださいと思います。まず、久住中学校3年、藤山拓巳さんは、第13回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア「めざせ！木工の技チャンピオン部門」で第1位となる最優秀賞を受賞され、この結果により、全国大会出場権を獲得し、第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト製作部門」にも作品を出品いたしました。

次に、西中学校2年高橋実里さんは、第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会ABC女子共通ジャベリックスローの部に出場されました。

以上、それぞれの事績により奨励賞の対象となったことから、今月、各学校を通じて、表彰楯を贈り、表彰させていただきましたので報告させていただきます。

《報告第1号に対する質疑》

小川委員：木工では何を製作したのでしょうか。また、ジャベリックスローとはどういった競技ですか。

大矢生涯スポーツ課長：ジャベリックスローとは、0.3kg程の重量のあるロケットのような形状のものをやり投げのように遠くに投げるのを競う競技です。このジュニアオリンピック陸上競技大会は、各都道府県から1名のみが出場できるものですが、高橋さんは、36m87cmを投げまして、全体の31位という成績でした。

中條教育指導課長：製作したのは「状差し」ですが、これは、作品ではなく木工の技を競うものですので、実際に当日会場で、木を切るなどの作業を行い、その技が評価の対象になるものです。

佐藤委員：教育委員会表彰では、いつもスポーツ部門が目立つのですが、こうしたスポーツ以外の部門でも表彰対象者が出てくるとするのは、いいことだと思います。世間ではスポーツのように派手なものに目が行きがちではありますが、このように普段あまり目立たない分野での事績に対しても、きちんと取り上げて表彰していくのは、とてもいいことだと思います。なお、各学校を通じて表彰したということでしたが、私個人の考えでは、教育長室に来てもらって、教育長から直接表彰していただいた方がいいと思いますので、ご検討ください。

報告第2号 「大谷津運動公園野球場の閉鎖期間の延長について」

大矢生涯スポーツ課長：

大谷津運動公園野球場につきましては、平成26年9月定例会で、一般国道464号北千葉道路工事にかかる大谷津トンネル函渠工事に伴い、平成26年10月1日から平成30年3月31日までの期間、閉鎖することをご報告させていただいたところですが、3月上旬

に千葉国道事務所より工期を延長したい旨、申し出がありました。

工期延長の主な理由といたしましては、当初想定された地層構成と大幅に異なっていたことから、一部の工事内容について、修正設計が必要になり、そのための検討に時間を要したこと及び追加工事が発生したことにもなうものです。

このようなことから大谷津運動公園野球場の北千葉道路工事に係る閉鎖期間を当初の平成30年3月31日から平成30年12月31日に延長するものでございます。

また、同球場は12月16日より冬季の閉鎖期間となることから、施設の再開については、平成31年3月20日を予定しております。以上、大谷津運動公園野球場の閉鎖期間の延長についてのご報告とさせていただきます。

《報告第2号に対する質疑》

小川委員：ただ今の報告とは直接関係ないかもしれませんが、この一般国道464号が印西市から北須賀まで開通して大変便利になりましたが、北須賀から押畑までの区間はいつ開通予定でしょうか。

大矢生涯スポーツ課長：今回工期の変更はありましたが、押畑までの区間の開通予定は、平成31年3月末までという予定に変更はありません。

議長：よろしいでしょうか。他に質疑等がなければ、以上で報告事項を終わりいたします。

6. その他

その他 「楽満寺のガラス絵馬・板絵馬類について」

田中生涯学習課長：

生涯学習課より「楽満寺のガラス絵馬・板絵馬類について」ご報告いたします。成田市の指定文化財に平成18年3月17日付けで、指定しておりました「楽満寺のガラス絵馬・板絵馬類について」、この度、3月7日付けで千葉県指定有形民俗文化財に指定されました。これは、「楽満寺の安産子育て祈願関係資料」として指定されたものです。これまで市指定であった絵

馬類に加えまして、7ページ8ページの写真のとおり背負観音厨子を含めての指定となりました。千葉県指定を受けると、自動的にその指定は外れることになっております。千葉県指定の主旨につきましては、「有形の民俗文化財のうち、その形様、製作技法、用法等において千葉県の基盤的な生活文化の特色を示すもので定型的なもの」の基準にならしまして、江戸時代の後期から大正15年にかけて製作奉納された絵馬類と如意輪観音の版木、女人講の皆さんが背負い巡幸した厨子を含めた形の指定となっております。県指定に伴って、成田市文化財保護条例の規定により市の指定は解除となりますが、県指定の名称にもありますとおり、子育て祈願以外の絵馬類が県の指定とはなりませんので、今後、楽満寺にありますその他の絵馬類について調査を行い、市の指定文化財として改めて指定の手続きを進めるなどの方向で、検討しておりますのでよろしくお願いいたします。

《質疑》

小川委員：「楽満寺の安産子育て背負観音厨子」というのは、実際にはいつ頃まで使用されていたものでしょうか。

生涯学習課木川副参事：一部の地域では、平成25、26年まで使用されていたと思われま

7. 教育長閉会宣言